

2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

2019年8月8日

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

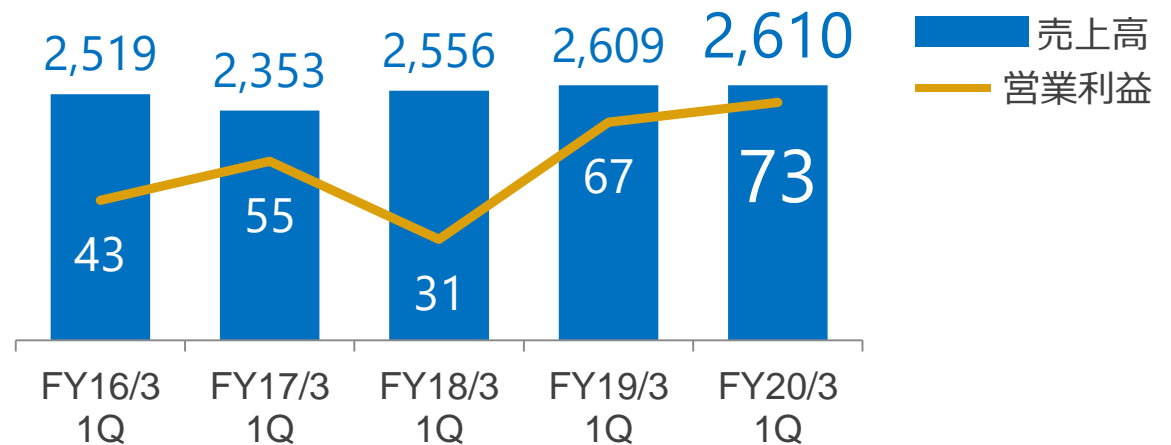
連結損益概要

(単位：億円)

	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,609	2,610	1	0.0%
営業利益	67	73	6	8.7%
経常利益	85	71	▲14	▲16.2%
当期純利益*	▲65	42	107	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:億円)



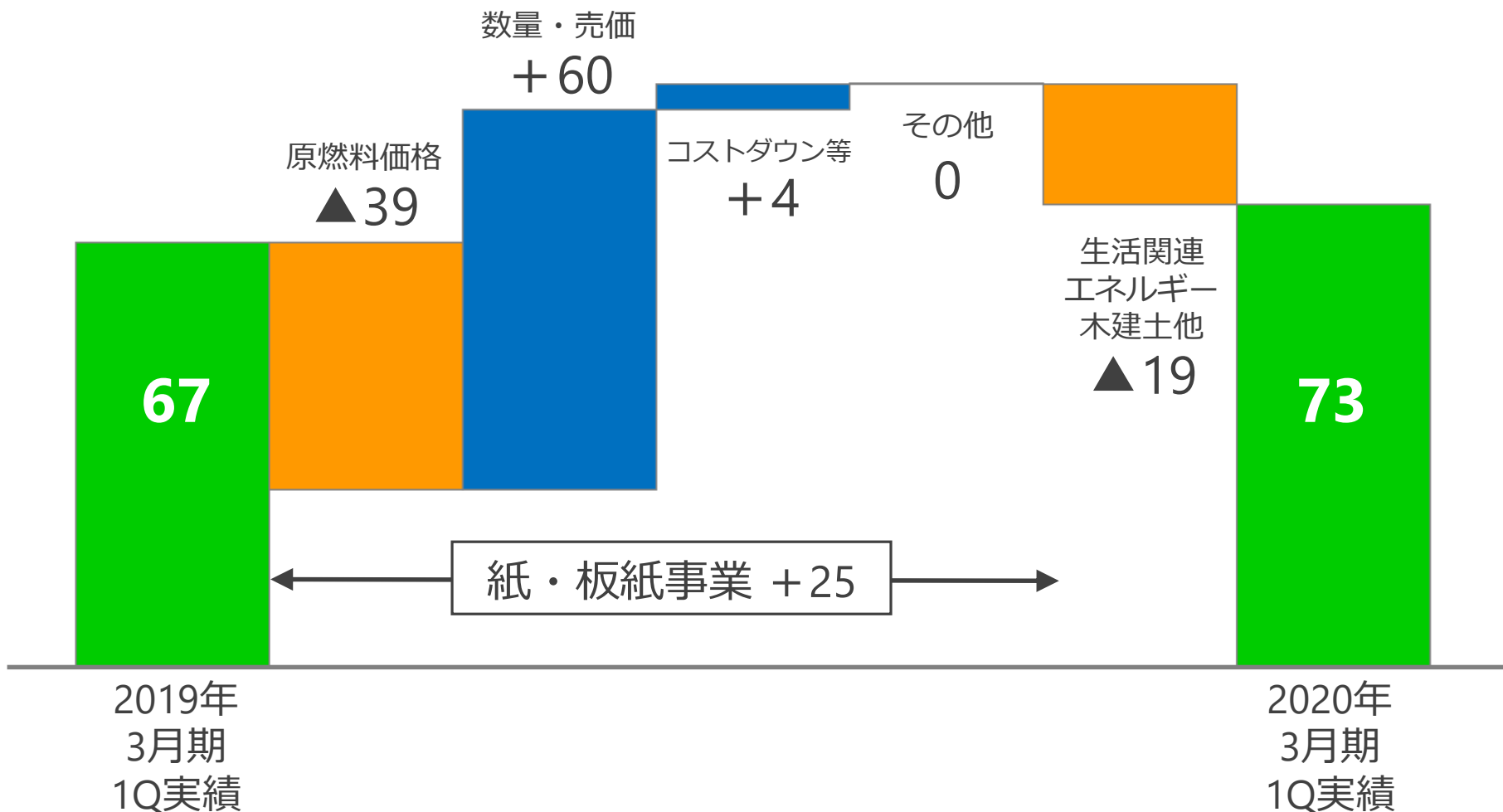
セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	前年 同期比	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	前年 同期比
紙・板紙	1,820	1,823	3	▲5	20	25
生活関連	492	510	18	33	30	▲3
エネルギー	87	70	▲17	23	10	▲13
木材・建材・ 土木建設関連	137	135	▲2	10	9	▲1
その他	73	72	▲1	6	4	▲2
合計	2,609	2,610	1	67	73	6

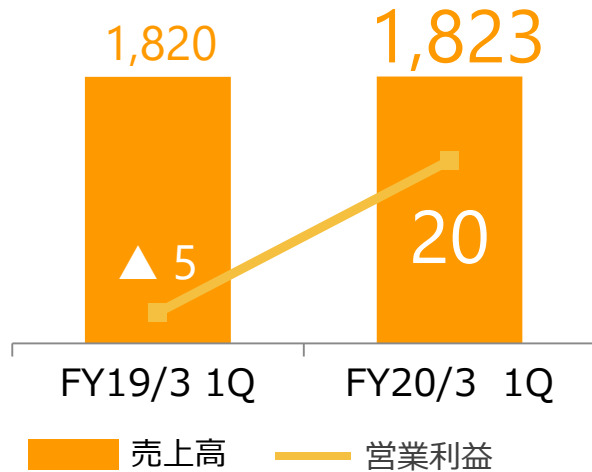
営業利益増減要因

(単位：億円)

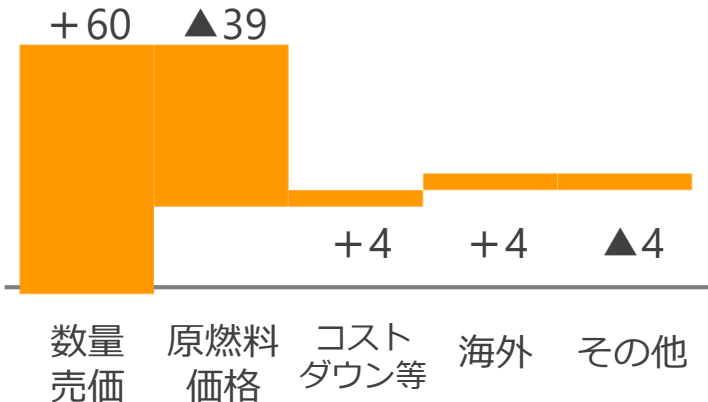


紙・板紙事業

売上高・営業利益 (億円)



営業利益増減要因 (億円)



○国内事業 (洋紙)

新聞の発行部数減少や印刷用紙の広告需要低迷などで国内販売数量は低調に推移。チップなど原材料価格は上昇したものの、印刷用紙や新聞用紙の価格修正の効果が発現した。

○国内事業 (板紙)

国内販売数量は、天候不順の影響もあり、前年同期を下回った。輸出製品は、米中貿易摩擦の激化に伴い、中国を中心としたアジア地域での需要が弱くなり、輸出販売数量は前年同期比で減少した。

○海外事業

オーストラリアンペーパーでの販売数量の増加や販売価格の上昇などの影響により、前年同期に対して、増収増益となった。

洋紙・板紙販売数量

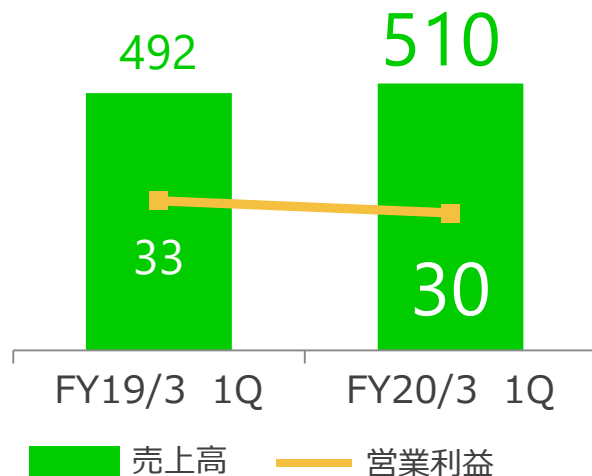
(単位：千t)

	2019年3月期 1Q	2020年3月期 1Q	前年同期比
新聞用紙	226	208	▲7.8%
印刷用紙	380	368	▲3.2%
情報用紙	124	126	1.8%
その他	93	90	▲3.1%
国内	823	792	▲3.7%
輸出	100	80	▲19.9%
洋紙合計	923	873	▲5.5%
段ボール原紙	430	413	▲3.9%
紙器用板紙他	91	87	▲4.1%
国内	521	500	▲4.0%
輸出	48	36	▲26.6%
板紙合計	569	536	▲5.9%
洋紙・板紙合計	1,492	1,409	▲5.6%

* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

生活関連事業

売上高・営業利益 (億円)



営業利益増減要因 (億円)



○パッケージ

国内の液体用紙容器は、天候不順の影響により飲料市場が低迷したことから、販売数量が前年同期を下回った。

日本ダイナウェーブパッケージングは、原紙の販売数量が前年同期を下回り、減益となった。

○家庭紙・ヘルスケア

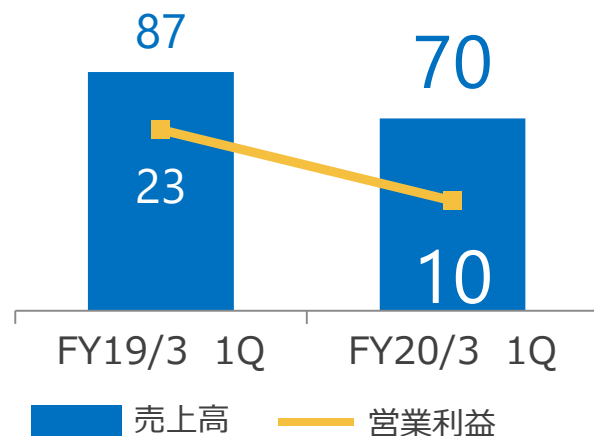
家庭用製品やヘルスケア製品、ホテル向け業務用製品などの需要は堅調で、販売数量は前年同期を上回った。価格修正は徐々に効果が発現し、前年同期に対して増収増益となった。

○ケミカル

機能性フィルムの販売数量は前年同期を上回ったものの、中国経済の減速の影響を受け、溶解パルプや化成品の海外向け販売数量は前年同期を下回り、増収減益となった。

エネルギー事業

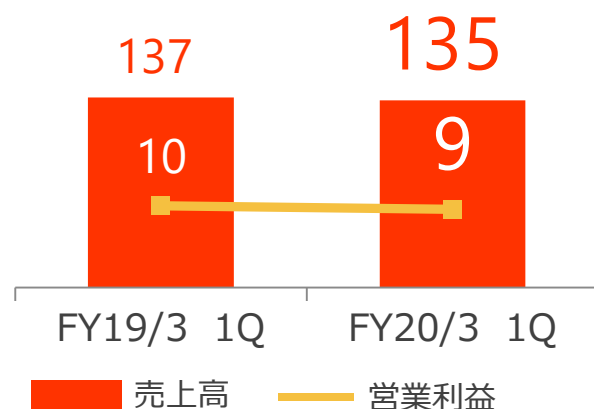
売上高・営業利益（億円）



発電設備の運転日数が減少したことや固定費の負担増などの影響により、前年同期比で減収減益となった。

木材・建材・土木建設関連事業

売上高・営業利益（億円）



新設住宅着工戸数が弱含みで推移し、日本製紙木材の製材品や建材品の販売数量が前年同期を下回ったことなどが影響し、減収減益となった。

連結損益概要

(単位：億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,687	11,200	513	4.8%
営業利益	196	300	104	52.9%
経常利益	239	280	41	17.1%
当期純利益*	▲352	130	482	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年 同期比	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年 同期比
紙・板紙	7,385	7,640	255 ▲81	44	125	
生活関連	2,017	2,230	213	116	3	
エネルギー	362	350	▲12	79	▲13	
木材・建材・ 土木建設関連	598	640	42	49	▲3	
その他	325	340	15	33	▲8	
合計	10,687	11,200	513	196	104	

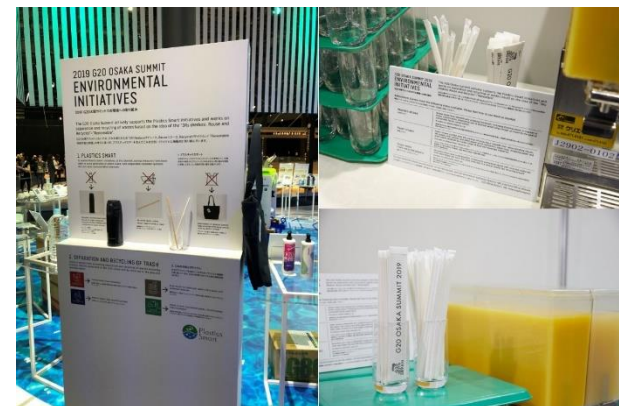
「地球へ社会へ未来へ G20 イノベーション展」にシールドプラスを出展

6月14日～16日に軽井沢で開催された「地球へ社会へ未来へ G20 イノベーション展」（主催：経済産業省、環境省）にシールドプラスを出展し、多くの来場者から関心を集めました。



G20大阪サミットで「紙製ストロー」が使用される

当社の「紙製ストロー」が、6月28・29日に開催されたG20大阪サミットにおいて、代表団レストランや国際メディアセンター（IMC）ケータリングコーナー、プレスダイニングで使用・展示されました。



参考資料

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

紙・板紙の内需と輸出

<2020年3月期 第1四半期 国内メーカー実績>

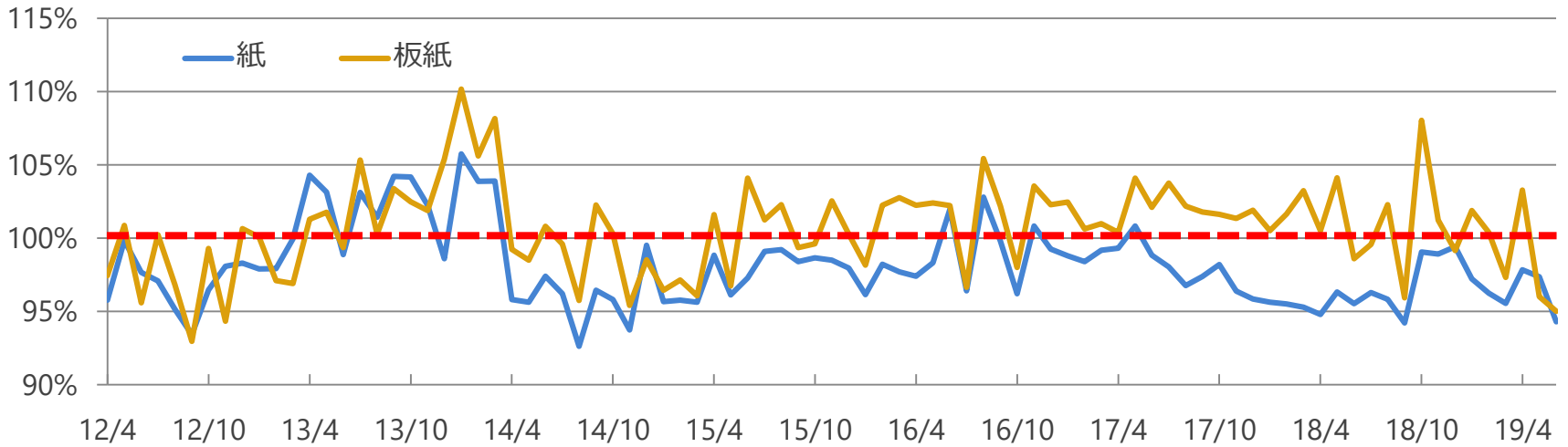
(数量：千t)

	国内出荷高(A)		輸出(B)		合計 (A+B)		輸入(C)		内需(A+C)	
	数量	前期比	数量	前期比	数量	前期比	数量	前期比	数量	前期比
新聞用紙	590	▲7.9%	0	—	590	▲7.9%	0	▲69.0%	591	▲8.1%
印刷・情報用紙	1,688	▲2.8%	131	▲41.3%	1,819	▲7.2%	288	57.1%	1,976	2.9%
塗工印刷用紙※	918	▲4.4%	97	▲43.3%	1,015	▲10.3%	157	201.1%	1,076	6.2%
非塗工印刷用紙	437	▲1.0%	27	▲38.3%	463	▲4.3%	15	6.7%	451	▲0.7%
情報用紙	333	▲0.8%	7	▲16.6%	340	▲1.2%	116	▲1.1%	449	▲0.9%
その他	787	▲1.4%	78	5.6%	865	▲0.8%	13	0.6%	800	▲1.4%
洋紙 合計	3,066	▲3.5%	209	▲29.6%	3,274	▲5.7%	301	52.8%	3,366	▲0.2%
段ボール原紙	2,294	▲1.4%	88	▲32.1%	2,382	▲3.0%	11	1.7%	2,305	▲1.4%
紙器用板紙他	537	▲3.7%	6	▲4.1%	543	▲3.7%	73	▲2.7%	610	▲3.6%
板紙 合計	2,831	▲1.8%	95	▲30.7%	2,926	▲3.2%	84	▲2.1%	2,915	▲1.9%
紙・板紙合計	5,897	▲2.7%	303	▲30.0%	6,200	▲4.5%	385	36.0%	6,282	▲1.0%

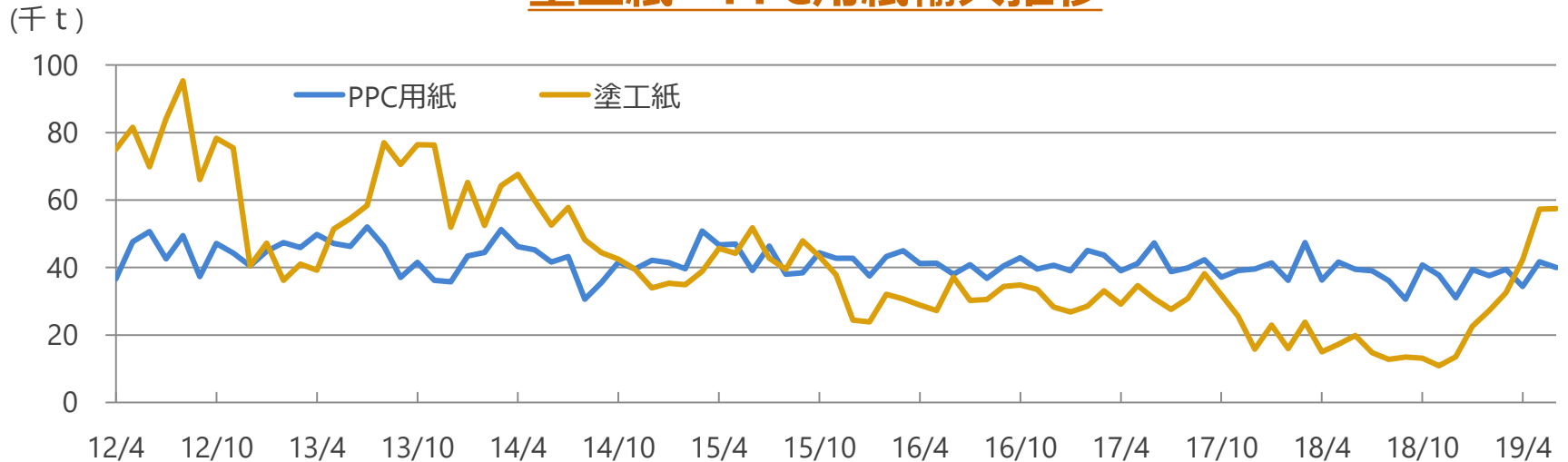
※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

メーカ一国内出荷量（対前年）、塗工紙・PPC用紙輸入推移

メーカ一国内出荷量(対前年)

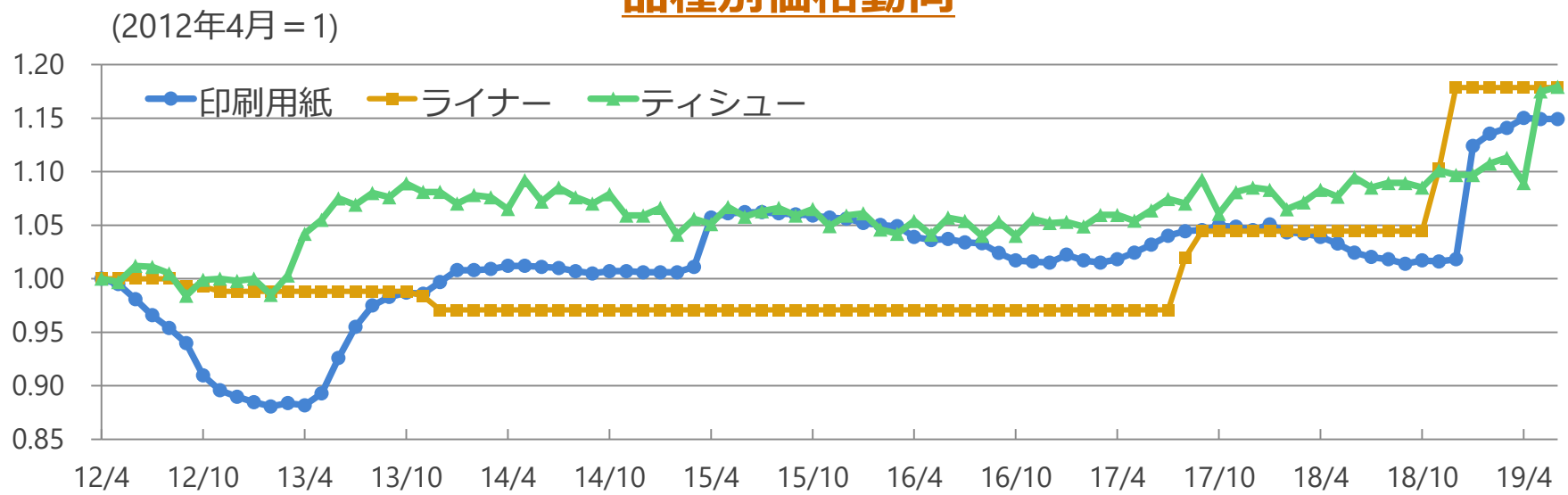


塗工紙・PPC用紙輸入推移

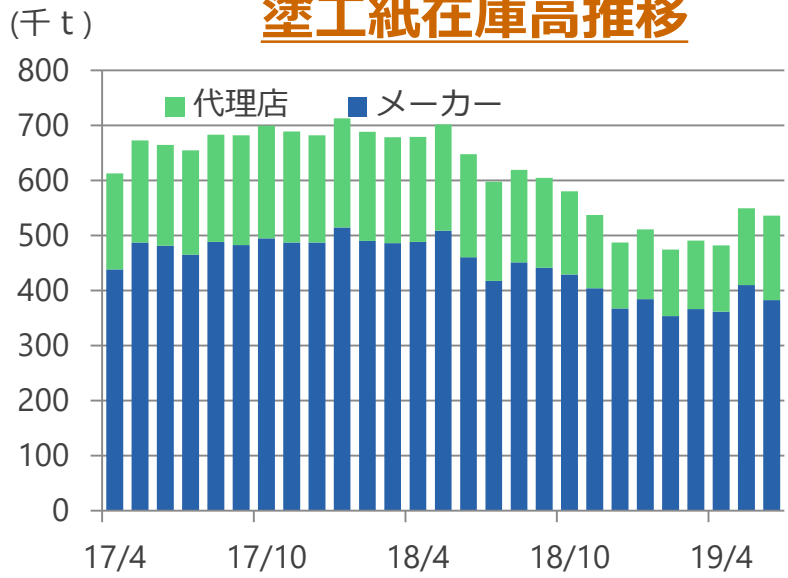


品種別価格動向、塗工紙・段原紙在庫高推移

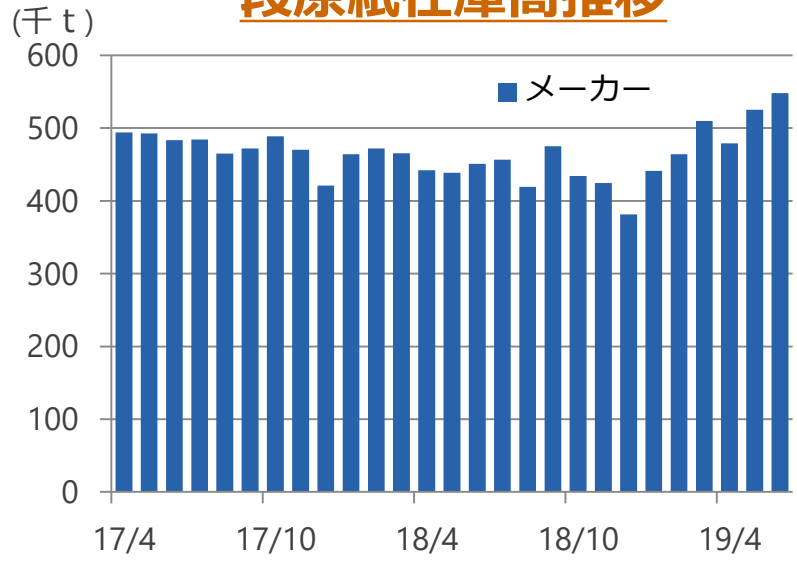
品種別価格動向



塗工紙在庫高推移



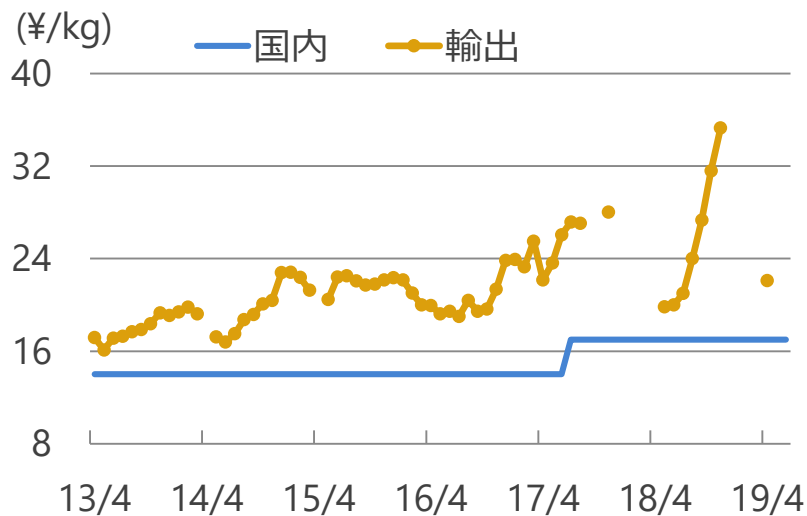
段原紙在庫高推移



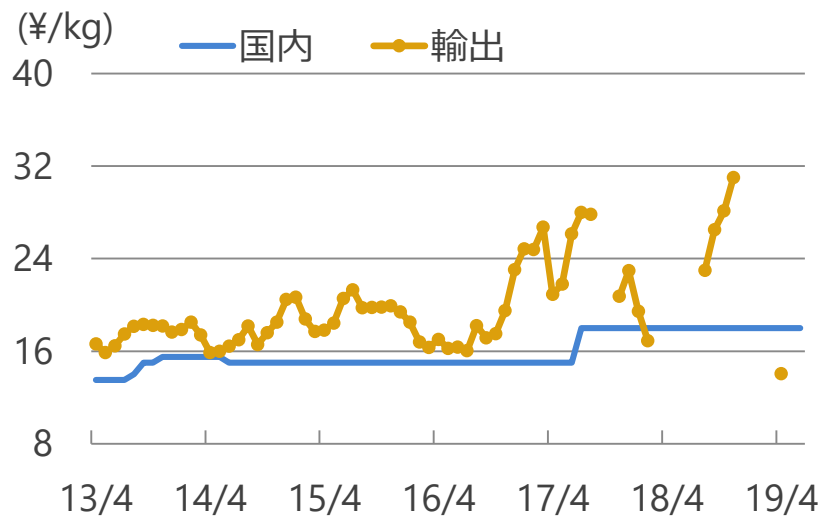
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

(参考) 主要原燃料価格動向

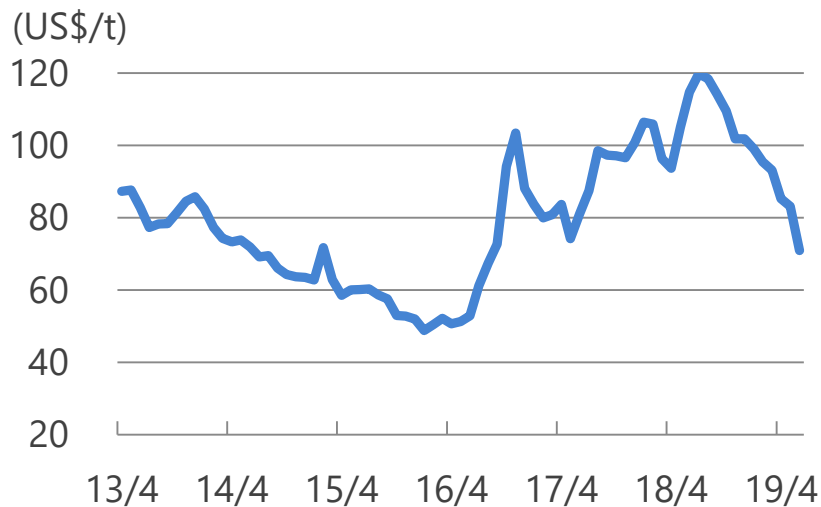
新聞古紙



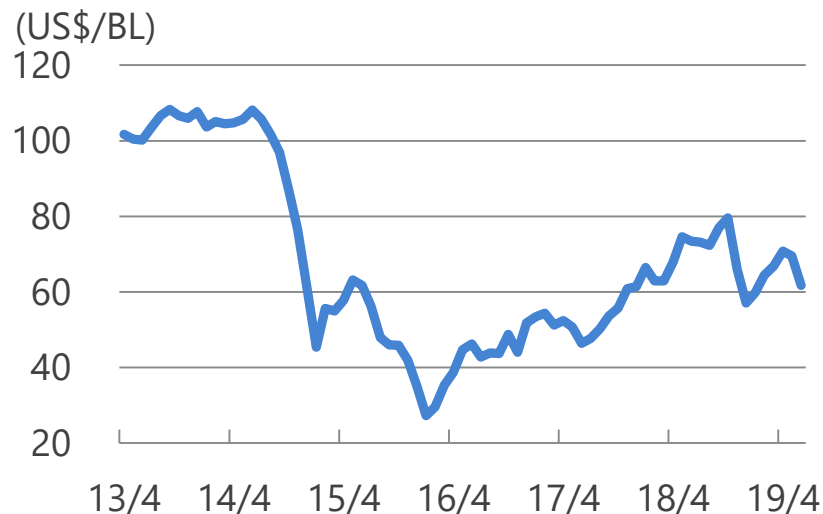
段ボール古紙



石炭



原油



出所：古紙再生促進センター、関東製紙原料直納商工組合、日本経済新聞、Global Coal Index

日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社